

モニタリング結果報告書（平成25年度上半期）

施設	観音崎公園
指定管理者	横浜緑地・西武造園グループ
指定期間	H21.4.1 ～ H27.3.31
施設所管課	都市公園課（横須賀土木事務所）

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

B

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。
（Dが2つ以上の場合）

<p><1 管理運営等の状況> 観音崎公園では、貴重な自然と歴史資源の特性を活かした公園づくりに取り組み、提案どおりの管理運営状況にある。維持管理に関しては、生物多様性の向上への取り組みとして草刈方法を工夫してチョウやバッタ等の生息環境に配慮した植物管理を行うとともに、新たな花の名所づくりの取り組みとして来園者が楽しめる花壇管理を提案どおり適切に行った。利用促進に関しては、特色ある植物、地層、昆虫等のガイドツアーなどの様々なイベントを開催するとともに、新たに園内のレストラン施設と連携した砲台ガイドツアーを実施するなど、利用促進の取り組みの充実がみられた。地域連携に関しては、地元町内会が主催する海岸清掃活動に参画するなど、地域や関係機関、ボランティア等と連携した取り組みを提案どおり適切に行った。</p> <p><2 収支状況> 概ね計画どおりの収支状況である。</p> <p><3 利用状況> 利用促進のためのイベント開催を計画的に行うとともに、5月の連休や夏休み期間において晴天に恵まれた日が多く、利用者数が目標対比増減率で142.9%であった。また、前年同期対比増減率は98.5%であり昨年と同程度の利用状況であった。</p> <p><4 利用者の満足度> 利用者満足度調査の結果、上位2段階の回答割合が90%と高い評価を得た。</p> <p><5 苦情・要望等> トビに餌を与えている人がおり危険であるとの声に対し、園内放送と現場で注意を行い、適切に対応した。</p> <p><6 事故・不祥事等> なし</p> <p><今後の方針等> 今後も、観音崎公園再生計画との整合を図りながら、公園の自然環境に配慮した植物管理や、自然と歴史資源を活かした利用促進の取り組み、地域やボランティアと連携した公園づくりの取り組みの継続が望まれる。</p>
--

1 管理運営等の状況

評価

B

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

	提案内容	実施状況等
1 (指定管理業務)	公園における特性と課題を踏まえた維持管理 (1) 生物多様性の向上 (2) 花の名所づくりのための植栽管理 (3) バーベキューエリアの夜間巡視、早朝交通誘導	(1) 花の広場において、チョウやバッタ等の生息環境に配慮するため、草刈り高さや回数を工夫するとともに、植物や昆虫の生息状況のモニタリングを自然博物館と協働で継続的に実施し、生物多様性の向上にむけた植物管理の取り組みを行った。 (2) 新たな花の名所づくりとして、有名画家にちなんだ品種名を持つヒマワリ(4品種)を花の広場の花壇に植えつけ、来園者に花の写真撮影を楽しんでもらえるような取り組みを行った。 (3) 利用者の多い7,8月の夏休み期間に、バーベキューエリア等の園内夜間巡視活動を行うとともに、通常より駐車場の交通誘導やゴミ拾いの開始時間を早める等、利用者の安全確保と快適性向上の取り組みを行った。

	提案内容	実施状況等
2 (指定管理業務)	<p>利用促進方策</p> <p>(1)利用促進のためのイベント開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドツアーの拡大充実 ・横須賀市の他公園等との連携イベント開催 <p>(2)利用促進のための広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの充実 ・公園パンフレットの更新 ・定期的な観音崎通信の発行 	<p>(1)観音崎の特色ある植物、地層、昆虫等のガイドツアーなどのイベントを計画どおり実施した。また、新たに園内のレストラン施設と連携したランチ付砲台ガイドツアー開催や、市内の他観光エリア（猿島及び大楠）と連携した横須賀エコツアーイベントを開始するなど、ガイドツアーの拡大・充実を行った。</p> <p>(2)公園のホームページやパンフレットの更新、イベント情報等の広報チラシを月1回発行するなど、園内情報の発信の取組みを提案どおり行った。</p>
3 (指定管理業務)	<p>地域と関係機関との連携</p> <p>(1)県民及び住民参加、ボランティア団体による協働の取組みについて</p> <p>(2)地域への貢献について</p> <p>(3)関係機関との連携</p>	<p>(1)4月に園内で活動するボランティア全7団体が参加する「公園倶楽部」を開催し、各団体で活動状況の発表を行い、各団体間の交流や情報共有を行った。</p> <p>(2)4月と7月に地元町内会が主催する海岸清掃活動に参画して、公園周辺の美化活動に取組んだ。また、5月に地元自治体や商工会議所、民間企業等が主催する「よこすか海道ウォーク」に参画し、同イベントの開催に合わせて、公園の魅力紹介イベントを行った。</p> <p>(3)4月に県警や公園見回りボランティアと連携して合同パトロールを開催し、園内の防犯啓発の向上にむけた取組みを行った。</p>

(2) 月例報告書による確認状況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	5月10日	6月7日	○	○	○	無	
5月	6月10日	7月5日	○	○	○	無	
6月	7月10日	8月2日	○	○	○	無	
7月	8月9日	9月6日	○	○	○	無	
8月	9月10日	10月7日	○	○	○	無	
9月	10月10日	11月5日	○	○	○	無	

※基本協定書上の月報等提出期限

翌月の10日まで

2 収支状況

評価

B

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。
 B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。
 C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。
 D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

	収入額（自主事業収入は除く）				支出額	うち納付金	収支差額	
	指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計				
募集時の見積算額 (参考)	51,355	0	28,558	79,913	79,913	0	0	
年度計画	前年度	79,800	0	27,781	107,581	107,581	0	0
	上半期	37,912	0	18,670	56,582	56,438	0	144
	下半期	41,888	0	9,111	50,999	51,143	0	▲ 144
	今年度	79,874	0	27,781	107,655	107,655	0	0
	上半期	37,842	0	18,670	56,512	56,512	0	0
	下半期	42,032	0	9,111	51,143	51,143	0	0
上半期実績	4月	6,474	0	1,498	7,972	5,896	0	2,075
	5月	6,305	0	2,629	8,934	10,211	0	▲ 1,277
	6月	7,942	0	1,856	9,798	9,047	0	750
	7月	6,018	0	4,058	10,076	9,772	0	304
	8月	5,179	0	7,312	12,491	11,131	0	1,359
	9月	5,924	0	1,761	7,685	8,993	0	▲ 1,307
	上半期合計	37,842	0	19,115	56,957	55,052	0	1,905
	対収支計画比	0.0%		2.4%	① 0.8%	② ▲ 2.6%		③ 3.4%
参考	前年度 上半期実績合計	37,912	0	18,704	56,616	54,666		1,949
	対前年度 上半期実績比				0.6%	0.7%		▲ 2.3%

※その他収入の内容 都市公園の駐車場収入

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	×	該当なし
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	×	該当なし
③ 収支差額のマイナス（上半期収支計画支出額対比）	×	該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
 基本協定において、県が負担することとしている修繕費等： 30万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	5,196	側溝グレーチング取替工事（998千円） 階段園路整備工事（420千円） 休憩施設修繕工事（914千円） 階段手すり設置工事（1,365千円） 園路広場整備工事（1,499千円）
下半期		
合計	5,196	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

3 利用状況

評価

A

(評価の目安)

今年度上半期利用者数が、
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

(目標利用者数等を設定していない
場合、前年同期対比増減率で
A : 105%以上
B : 95%以上～105%未満
C : 85%以上～ 95%未満
D : 85%未満

(入所施設等定員がある場合、定員比
で
A : 100%
B : 90%以上
C : 80%以上
D : 80%未満

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	73,500 人	71,500 人	102.8 %
5月	82,400 人	78,500 人	105.0 %
6月	55,900 人	61,600 人	90.7 %
7月	78,200 人	73,500 人	106.4 %
8月	83,000 人	89,000 人	93.3 %
9月	54,000 人	59,500 人	90.8 %
合計	427,000 人	433,600 人	98.5 %

	利用者数	前年同期利用者数	目標利用者数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
上半期計	427,000 人	433,600 人	299,000 人	① 142.9 %	② 98.5 %
下半期計	— 人	— 人	— 人	— %	— %
合計	427,000 人	433,600 人	299,000 人	42.9 %	▲ 1.6 %

※目標値の設定の有無

期間	基準	その他の場合の期間	その他の場合の基準
	設定している		
	半期ごと		
	過去数年間平均		

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下)	○	利用促進のためのイベント開催を計画的に行うとともに、5月の連休や7月の夏休み期間において、晴天に恵まれた日が多かったことから目標値を上回った。
② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下)	×	該当なし

<参考>

施設の最大利用可能人数

	駐車場						合計
定員(1日あたりの延べ人数)	312						312
年間利用可能日数	365						
最大人数	113,880	0	0	0	0	0	113,880
半期	56,940	0	0	0	0	0	56,940

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

4 利用者の満足度（アンケート結果）

評価 **A**

(評価の目安)

「満足」（4段階評価及び5段階評価の場合、上位2段階）と答えた割合が

- A：80%以上
- B：60%以上～80%未満
- C：40%以上～60%未満
- D：40%未満 又は（A～Cにかかわらず）「不満足」と答えた割合が50%以上
- ：今期は実施していない

	とても良い	良い	普通	悪い	とても悪い	合計	上位2段階の割合
総合満足度の回答結果	45	47	5	5	1	103	92 (90.0%)

※今年度の実施予定 上半期 6 回 下半期 4 回 その他 _____ 回
 ※配布・回収件数 配布 103 件 回収 103 件 回収率 100.0% %
 ※実施方法 利用者等に配布

5 苦情・要望等

評価 **B**

(評価の目安)

- A：要望等を積極的に把握して改善を行う等、サービス向上を図った。
- B：指定管理者に起因しない苦情・要望等があったが、適切に対応した（苦情・要望等がない場合も含む）。
- C：指定管理者に起因する苦情・要望等があったが、適切に対応した。または、指定管理者に起因しない苦情・要望等があり、適切に対応していない。
- D：指定管理者に起因する苦情・要望等があり、適切に対応していない。

受付件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	簡易アンケート等	
上段：報告件数	7	12	0	2	0	21
下段：報告件数のうち所管課受付分	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

苦情・要望等への対応

該当あり

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容		
その他	トビに餌を与えている人がおり危険であるとの苦情。	園内放送で迷惑・危険行為をやめるよう呼びかけると共に、現地に急行して注意した。
	スズメ蜂の巣があるので撤去して欲しい。	状況を確認し、早急に撤去した。

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

6 事故・不祥事等

評価

B

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
- B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した（事故等が発生していない場合も含む）。
- C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- D : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。

発生状況及び対応状況

該当なし

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等

随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
()		
()		
()		